

四組 一場面

主人公は、父親が持って帰ってきてくれると言っていた「エビフライ」のことがすごく気になっていた。しかし、なんとなく、つぶやいてみても「えんぴフライ」と聞こえるらしい。それでも何度もつぶやいてしまうぐらいに気になっていた。そんなことを考えながら、釣りをしている。

赤座さん

主人公は河鹿に気を遣っていることが、「気をつけないと」と「驚かせることになる」から分かる。えびフライとつぶやくのは、「えんぴ」と言ってしまうので練習していると言うことと、姉に注意されることを防ぐためである。主人公は、姉は少し強情だと思いつつも仲は良いようである。久しぶりに帰ってくる父親を喜ばせるために、釣りをしている。

青木君

主人公は、父親のことを思って、えびフライをふん美フライと言わないようにしている。そして、河鹿が美しい声で鳴いているのを止めないように、声にならないようにしている。河鹿や父親に気を遣い、父親が帰ってくるのがうれしい、父親にも、生そばを食べてうれしくなってほしいと思いつつも、釣りをしている。

村瀬紗弥さん

主人公は、父親がえびフライを買ってきてくれるが、えびフライが何か分からないため、わくわくしている。父親に「えんぴ」と言わずに「えび」と言えるように練習しつつも、父親が帰ってくるので、雑魚が釣れる天候を気にしながら、釣りをしている。

岡部君